

2023 年 8 月 28 日

関東ラグビーフットボール協会
理事長 大原 俊一 様
関西ラグビーフットボール協会
理事長 松原 忠利 様
九州ラグビーフットボール協会
理事長 御領園 昭彦 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会
専務理事 岩渕 健輔

大学ラグビーにおける薬物乱用防止の徹底について(通達)

平素は日本ラグビーの普及発展に多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、2023 年 8 月に日本協会登録の大学ラグビー部の学生が大麻取締法違反の疑いで逮捕されました。大学ラグビー界においては今回の事案を含め、2020 年からこれまでに薬物乱用に係る不祥事が 3 件発生しており、薬物乱用防止の徹底が喫緊の課題となっています。

つきましては、改めてラグビーの価値を守りコンプライアンス遵守を徹底するため、日本協会では大学ラグビー部の関係者を対象に、以下の直接的な取り組みを行うこととしました。(詳細は別紙参照)

【大学ラグビー部を対象とした取り組み】

取組 1：大学ラグビー部選手・スタッフに向けたメッセージ発信

取組 2：大学ラグビー部全関係者のインテグリティ研修（動画視聴）

取組 3：コンプライアンスアンケート回答

取組 4：薬物相談窓口の活用依頼

※大学ラグビー部への連絡は、日本協会からチーム管理者宛にメールで発信します。

ラグビー界から薬物問題を撲滅するために、日本協会、三支部協会、都道府県協会、登録チームが連携しラグビー界全体で取り組む必要があります。三支部協会、都道府県協会におかれましては、当通達の趣旨をご理解いただき、関係各所、登録チームに周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

■通知対象：三支部協会、各都道府県協会、登録チーム

■文書作成：(公財)日本ラグビーフットボール協会 インテグリティ推進部門

■本件についてのお問合せ先：

(公財)日本ラグビーフットボール協会

インテグリティ推進部門 齋藤 (m.saito@rugby-japan.or.jp)

インテグリティ推進部門 渡辺 (watanabe@rugby-japan.or.jp)

以上

添付資料) 【通達別紙】大学ラグビー薬物乱用防止に向けて